



## (青木先生の自評)



### 目標1について

挿絵や言葉から読み取らせることができた。全員、記入しており、気持ちの変化にも気付けた。板書の矢印での可視化が有効で会ったと考える。

### 目標2について

お面をかぶらせることで、意欲はでたが、気持ちを込めたり、スラスラ読ませたりすることはできなかった。

### 【協議会より】

- 音読記号はどのように使うか。  
→まだ考えていないので、今後検討する。
- 次時と本時のちがいは。  
→かたつむり君が到着するのがおそいが、そのときどんな気持ちで待っているのかを考えさせたい。
- 気持ちカードを使って、全体と個人の読み方を確認する必要があったのでは。一人ひとりの読み方は違ってよいが、発表会は別物として考えさせる。折り合いをつけていく。
- 子どもたちが、たくさん書く姿が素晴らしい。
- 低学年はお面等を活用したほうが意欲が高まる。
- かえるくんの気持ちを振り返らせてもよかった。
- 本文や挿絵を根拠に、気持ちを想像しできていた。
- 発言をつなげるための工夫がされていた。
- 一番気を付けて読むところはどこか。その理由を問うという活動を入れてもよかった。
- 既習図がとても丁寧だった。毎時作成され、子どもの学習を支援している。



## 三宅孝一教頭先生の御指導・御助言

### 【授業について】

- 子どもたちが想像を広げて読んでいる。
- 話型がとても良い。子どもの発言から生まれ、学級の文化になっている。
- 「ああ」に注目させ、前回の「ああ」と比べさせることで、気持ちの違いが分かる。

### 【国語科の学習指導について】

- 国語科の学習は系統性・計画性を重視する。
- 登場人物の人物像をとらえるために、名前・性別・年齢等、観点に基づいた叙述分析が大切である。
- 目的や意図に応じた読書、整然とした文章を書くこと、故事成語等、実感を伴う必要性を重視する。
- 学習の振り返り（メタ認知）の時間の確保

青木先生お疲れ様でした☆

給食時間に2年生の掲示板の前を通ると、定期的に掲示物が替えられていることに気づかされます。教室の掲示物や既習図も丁寧に作ってありました。掲示物等を作るポイントを今度お聞きしたものです。子どもが場面を思い出すための手立てとしてとても有効であったと思います。また、いつも明るく、前向きなトーンが学級を明るくしています。2年生の子どもたちが、のびのびと授業を受け、自分の考えを自分の言葉ではっきりと言える姿や話型を見せていただき、自分の学年での指導を再度見直していかなければならないと感じさせられ次第です。青木先生の指導技術を今後も共有させていただきたいと思います。